

2016年7月研究会（中部地区）

日 時：2016年7月14日（木曜）18:00～19:30

会 場：名古屋商科大学名古屋キャンパス 丸の内タワー

だざい ほくと

報告者：太宰 北斗氏（名古屋商科大学商学部 助教）

テーマ：『上場企業における事業承継の実態とその変遷』

司 会：齋藤 孝一（名古屋商科大学大学院教授）

主 催：一般社団法人事業承継学会（中部地区）

講師プロフィール

2005年 慶應義塾大学文学部卒業

2012年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了

2015年 一橋大学大学院商学研究科博士後期課程修了 博士(商学)

2005年～2010年 ライオン株式会社

2015年 一橋大学大学院商学研究科 特任講師

2016年より現職（名古屋商科大学商学部 助教）



< 研究報告要旨 >

日本の上場企業において、ファミリー企業はどのような地位を占めてきたのでしょうか？また、上場企業での事業継承はどのように展開されてきたのでしょうか？本研究では1962年から2010年までの長期的データを用いて、上場企業におけるファミリー企業の実態について発表していただきました。具体的には、(1)年代別・業種別のファミリー企業数の推移、(2)経営参加状況・株式保有構造の現状、(3)事業継承における株式保有構造の変化について確認することで、上場企業におけるファミリー企業の位置づけ、事業継承の形態について考察する一方で、百貨店における事業承継については個別具体的な企業ごとの特徴を報告していただきました。

研究会参加者：28名

